

空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金

(ビジネスモデルの検証に資する実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み)

令和7年度（2次募集）採択事業概要一覧

代表事業者	事業名・事業概要
①兼松（株）	＜大阪府域におけるバーティハブ（整備・駐機拠点）構想の検討＞ 大阪市域における空飛ぶクルマの整備・駐機拠点となるバーティハブ構想の実現に向けて、整備項目の精査や課題検証、航路案の策定を行うとともに、国内外に向けた広報活動を実施
②エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)	＜大阪における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討～冷凍医薬品エア・ブリッジ～＞ 大阪における災害時の医療分野での空飛ぶクルマの活用に向け、医薬品の緊急輸送についてのシミュレーションやワークショップを実施
③（株）ソニック	＜空飛ぶクルマの安全運航支援のための低層風情報提供システムの実証評価＞ 大阪を離着陸地点とするルートにおいて、上空の乱気流を監視し、空飛ぶクルマの運航関係者へ情報提供するシステムの事業化をめざし、空飛ぶクルマの実機を用いた実証実験を実施

①大阪府域におけるパーティハブ（整備・駐機拠点）構想の検討

（１）万博を契機にビジネス化へ向けた空飛ぶクルマ実機等（モックアップ含む）を使用した社会受容性向上に資する取組み

（２）ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 兼松株式会社



兼松株式会社

< 協力事業者 >

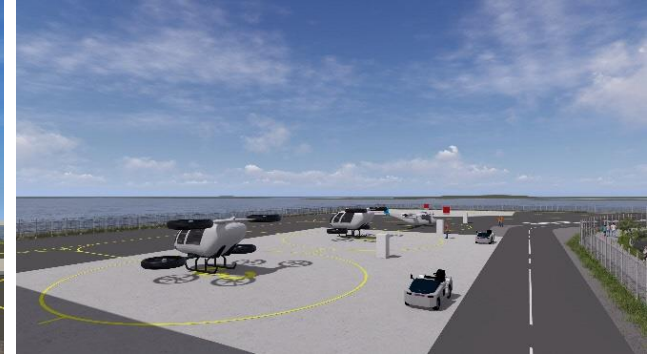
- 中日本航空株式会社
- Eve UAM, LLC.
- 日本工営株式会社
- Skyports株式会社

■ ねらい

- 空飛ぶクルマの整備・駐機拠点となるパーティハブの実装に向けて、諸課題の検証や、国内外の事業者向けの広報活動を通じ、事業構想を具体化する

■ 今年度事業概要

- 想定運航便数や初期投資額、整備対象項目等を精査し、事業構想の検討を深化
- 国内外の機体メーカーや運航事業者に向けた、パーティハブ構想の周知



パーティハブのイメージ

■ ビジネスプラン（今後の構想）

2025年度

課題検証、
広報活動

2026年度

追加調査、
環境アセスメント準備

2027年度

運航会社や地権者との合意
環境アセスメント

2028年度

2029年度

大阪府域でのパー
ティハブの着工

2030年度

運用開始

②大阪における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討 ～冷凍医薬品エア・ブリッジ～

(1) 万博を契機にビジネス化へ向けた空飛ぶクルマ実機等
(モックアップ含む) を使用した社会受容性向上に資する取組み

(2) ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 申請者・実施体制

<申請者>

- エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン
株式会社

AIRBUS

<共同事業者>

- 株式会社メディセオ
- 三菱倉庫株式会社

<協力事業者>

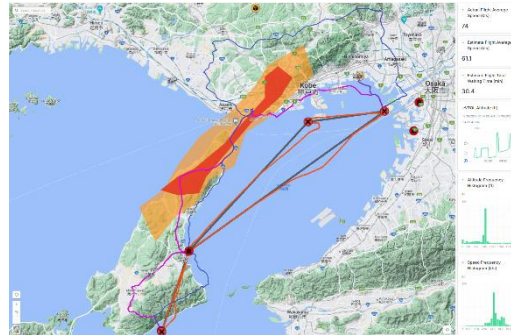
- 一般財団法人日本気象協会

■ ねらい

- 災害時における医療分野での空飛ぶクルマの活用に向け、冷凍医薬品の輸送シミュレーションを行い、社会的に意義の大きいユースケースにおける経済的で実行可能なビジネスモデルを開発する

■ 今年度事業概要

- エアバスが開発した災害発生時等における意思決定の支援ツールLSIS (Life Saver Information System) による、空飛ぶクルマを活用したシミュレーションに基づき、低温保管医薬品の緊急輸送を想定したヘリコプターによる模擬飛行を実施
- 需要モデルの把握やシミュレーション結果の評価のため、危機管理や消防、医療分野の計画・運営担当者とのワークショップを開催



シミュレーションのイメージ (2024年度の例)



模擬飛行のイメージ

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

医薬品輸送のシミュレーション、
ワークショップの実施

2026年度

防災分野でのユースケース開発、
リビングラボの設置

2027年度以降

災害時を含む航空医療分野でのエコシステムの開発支援、
旅客輸送など他のユースケースでのビジネス展開のサポート

③空飛ぶクルマの安全運航支援のための低層風情報提供システムの実証評価

(1) 万博を契機にビジネス化へ向けた空飛ぶクルマ実機等(モックアップ含む)を使用した社会受容性向上に資する取組み

(2) ビジネスモデルの検証に資する
実証実験、調査・検討、社会受容性向上の取組み

■ 申請者・実施体制

<申請者>

- 株式会社ソニック



<協力事業者>

- 国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
- 小川航空株式会社
- 大阪市高速電気軌道株式会社
- 株式会社SkyDrive
- 日本気象株式会社

■ ねらい

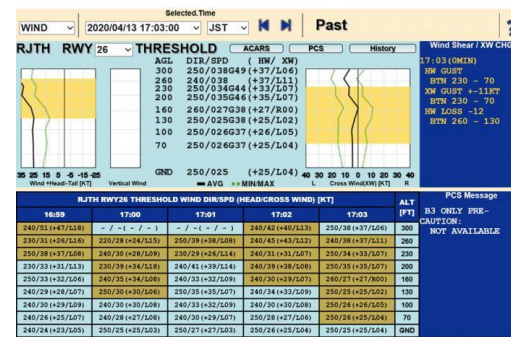
- 上空の乱気流を監視し、その情報を提供することで安全運航を支援するため開発したSOLWIN-mini(低層風情報提供システム)の事業化をめざし、実機を用いた実証実験を実施する

■ 今年度事業概要

- 空飛ぶクルマの実機を用いた実証実験を行い、安全に離着陸するための上空の気流乱れの閾値を把握
- 利用者へのヒアリングにより、システムの有用性と改良に向けた課題を評価・検証



SOLWIN-miniの外観



インターネットブラウザから閲覧したシステム画面

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

実機による実証実験、
ユーザー評価の実施

2026年度以降

大阪都心部での設置に向けた調査検討、
ハブ空港や自治体、空飛ぶクルマ事業者との連携拡大、
大阪を離着陸地点とするルートでのビジネス化